

(講座) 分子創薬科学

(研究室) 細胞制御学

(氏名) 尾崎 恵一

(職名) 准教授

【研究テーマ】

1. シグナル遮断薬によるシグナル伝達病治療に関する基礎研究
2. ヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC) 阻害を基盤とした新規がん分子標的療法の開発
3. 細胞内セラミド代謝制御による効果的がん化学療法の開発
4. ペメトレキシドの非小細胞肺癌組織型依存的な抗がん作用発現機構に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-b) 総説

1. M. Kohno, S. Tanimura & K. Ozaki : Targeting the extracellular signal-regulated kinase pathway in cancer therapy, *Biol. Pharm. Bull.*, **34**, 1781-1784 (2011). (IF: 1.811)

B 邦文

(B-d) 紀要

1. 尾崎恵一: HDAC 阻害剤による「がんの個別化治療」確立のための基礎的検討, 科学研究費助成事業研究成果報告書.

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. K. Ozaki, K. Fujio, T. Sakamoto, S. Kajikawa, M. Kohno: HC-toxin and PD184352 synergistically up-regulate Bim and TBP-2 to induce the enhanced ROS accumulation and cell death, 第70回日本癌学会学術総会, 名古屋
2. 尾崎恵一, 河野通明: PI3K/Akt 経路遮断剤と微小管重合阻害剤の併用は、細胞内セラミド代謝の制御を介して顕著な細胞死を誘導する, 第15回日本がん分子標的治療学会, 東京
3. 梶川修平, 坂元利彰, 尾崎恵一, 河野通明: ERK 経路の活性化及び p53 遺伝子型と HDAC 阻害剤感受性との相関, 第34回日本分子生物学会年会, 横浜
4. 原田垂弥, 釘崎聡美, 真鍋しおり, 尾崎恵一: 脂肪細胞の脂肪分解における ERK-MAP キナーゼ経路の役割, 第28回日本薬学会九州支部大会, 福岡
5. 村山裕一, 田渕祐輔, 川崎量子, 尾崎恵一: 非小細胞肺癌細胞株に対する Pemetrexed (Alimata) とシスプラチンとの併用効果, 第28回日本薬学会九州支部大会, 福岡

【研究費取得状況】

1. 科学研究費補助金 基盤研究(C)

“HDAC 阻害剤による「がんの個別化治療」確立のための基礎的検討”

【学会役員等】

1. 日本薬学会 代議員
2. 日本生化学会「生化学」誌企画協力委員

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	28 編	(邦文)	1 編
総説 (欧文)	1 編	(邦文)	4 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	3 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	18 編
特許	0 件		